

2010年度 日本文化人類学会

第6回 理事会 議事録(案)

日時：2011年2月13日(日) 14:00~18:00

会場：東京外国語大学・本郷サテライト会議室

出席者：渡邊(欣)、綾部 太田、岡田、栗田、栗本、佐々木、関根、棚橋、玉置、中川、中谷、名和、三尾、森山、

委任状提出：小田、鏡味、葛野、桑山、清水、高倉、渡辺(公)

〔承認事項〕

1. 前回(2010年度第5回)理事会議事録を承認。
2. 新入会員(7名)につき、総務会で入会を承認したことを報告の上で事後承認。
3. 台湾中央研究院民族学研究所による『民族学研究』掲載論文転載の許諾依頼について、先方より、1名のみご遺族と連絡がつき転載許可を得られたこと、他の著者についてはご遺族と連絡が取れなかったとの報告があったことを報告。前回理事会の決定に従い、今回ご遺族と連絡が取れなかった他の著者について本学会の転載許諾基準に則って転載許可を行ったことを報告の上で事後承認。
4. 日本学術会議人類学分会主催公開シンポジウム「今、アイヌであること - 共に生きるための政策をめざして」(2011年3月6日法政大学にて開催)の後援依頼があり、総務会で後援を承認したことを報告の上で事後承認。

〔報告事項〕

1. 庶務理事報告
 - ・国立民族学博物館より「ウメサオタダ展」の案内状発送に使用する学会員宛名シールの送付依頼があり、連携事業に関する協定に基づき実費負担にて提供したことを報告。
 - ・第一期、第二期の評議員を務められた故鎌田久子会員のご遺族へ会長名で弔電を送ったことを報告。
 - ・育志賞の受賞者一覧を報告。
 - ・前回理事会の決定に従い、日本学術会議会員及び連携会員の候補者として、会長が選定した6名について情報提供を行ったことを報告。
 - ・日本学術会議が行った学会誌に関するアンケート結果を報告。
2. 会計理事報告
 - ・各委員会担当理事に対し、2010年度予算の執行状況を確認し、支出がある場合には3月18日までに事務局へ連絡するよう依頼。また、各地区研究懇談会経費について、年度最後の研究会終了後の決算報告書提出を要請し、余剰金が出た場合には学会会計へ返還することを確認。
3. 広報理事報告
 - ・人類学関連学会協議会の合同シンポジウムについて、参加学会による持ち回り開催が今年度で一巡したが、次年度以降もこのままの形で継続して開催することが合意されたため、来年度は日本人類学科会が開催する予定であることを報告。
 - ・日本学術会議自然人類学分会主催公開シンポジウムの案内について周知依頼があり、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・学会ホームページの文字化けについての情報を、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。また、学会ホームページの文字コード体系を変更したため、現在文字化けは発生しないことを報告。
 - ・AJJ Spring Workshopの案内について周知依頼があり、総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・日本学術会議人類学分会主催公開シンポジウムの案内を総務会で承認の上、JASCA-INFOで配信したことを事後報告。
 - ・JASCA-NET上でチェーンメール誘発の可能性のある不適切な表現の使用に関して注意喚起を行ったことを報告。
 - ・3月9日に開催される「J-STAGE 公開系新システム説明会/学協会意見交換会」へ出席予定であることを報告。

告。

4. 各種委員会報告

- ・『文化人類学』編集委員会：進捗状況を報告。2月13日開催の編集委員会にて特集と書評について検討したことを報告。その結果、今後、書評主任より各出版社へ新刊データの送付を直接依頼することを報告。特集については、特集原稿の査読方法への意見があったことが報告され、テーマの公募や書き手の公募などの案について意見交換が行われた。また、編集委員会からは、対策の一つとして査読チームの設置を試みることが報告された。
- ・JRCA編集委員会：Vol.11の進捗状況を報告。
- ・地区研究懇談会担当委員：各地区研究懇談会の開催状況、開催予定を報告。

5. 第45回研究大会の準備状況

- ・栗田理事より、資料に基づき研究発表の査読結果及び査読者を対象に行ったアンケート結果が報告された。なお、次回の要旨登録に際し、文字数の数え方をサーキュラーに明記する予定であること、不採択となった場合には、その理由を合わせて通知する予定であることを報告。
- ・第45回研究大会第2回サーキュラーが2月9日にJASCA-INFOで配信されたことを報告。

【審議事項】

1. 学会賞および学会奨励賞候補者の推薦

- ・学会賞選考委員会委員長代理の理事より、学会賞選考委員会による選考結果が報告され、投票の結果、学会賞を波平恵美子氏、学会奨励賞を田村うらら氏と中谷和人氏に授賞することが承認された。授賞理由については、原案の作成を学会賞選考委員会委員長へ依頼し、最終的な文言の調整を総務会で行うことが承認された。

2. 研究グループ制の導入について

- ・関根理事より、「日本文化人類学会『課題別研究グループ』の設置(案)」と「『課題別研究グループ』設立申請書(案)」について原案の提示と説明があり、意見交換の後、次回総会までに最終案を決定することを確認した。

3. 「地理歴史又は公民の高等学校教諭の一種免許状授与の所要資格を得させるための課程の認定」についての文部科学省への要望について

- ・綾部理事より、文部科学省への要望書提出について説明があり、事業計画に則り今年度も昨年度と同内容にて提出することを承認した。

4. 「事務局員雇用に関する申し合わせ」について

- ・総務会より、事務局職員の雇用契約更新について提案があり、契約更新が承認された。

5. 国立情報学研究所電子図書館に係る申し合わせについて

- ・栗田理事より、国立情報学研究所電子図書館に係る申し合わせについて説明があり、審議の結果、現行の申し合わせを今年度は改訂しないことを承認した。なお、ある程度年数が経過した論文のダウンロードを無料化すべきでないかとの意見が出され、来年度以降、『文化人類学』編集委員会で検討することとした。

6. 国立民族学博物館との連携事業に関する協定書(案)について

- ・岡田理事より、「国立民族学博物館との連携事業に関する協定書(案)」について資料に基づき説明があり、包括的協定とすること、文言を国立民族学博物館と調整することを確認した上で承認された。

7. その他

- ・佐々木理事より、本学会の映像資料公開準備の進捗状況について質問があり、学会歴史委員会委員長の玉置理事より神奈川大学からの回答待ちであることが報告された。神奈川大学からの回答を待って、国立民族学博物館でも公開準備を進めることが確認された。
- ・2010年度事業報告および2011年度事業計画について、近日中に綾部理事から各理事に照会予定であることを確認した。

以上